

1 策定の趣旨

食品ロスに関しては、国連の2015年9月のサミットにおいて採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」において、2030年までに食料廃棄を半減させることが盛り込まれている。

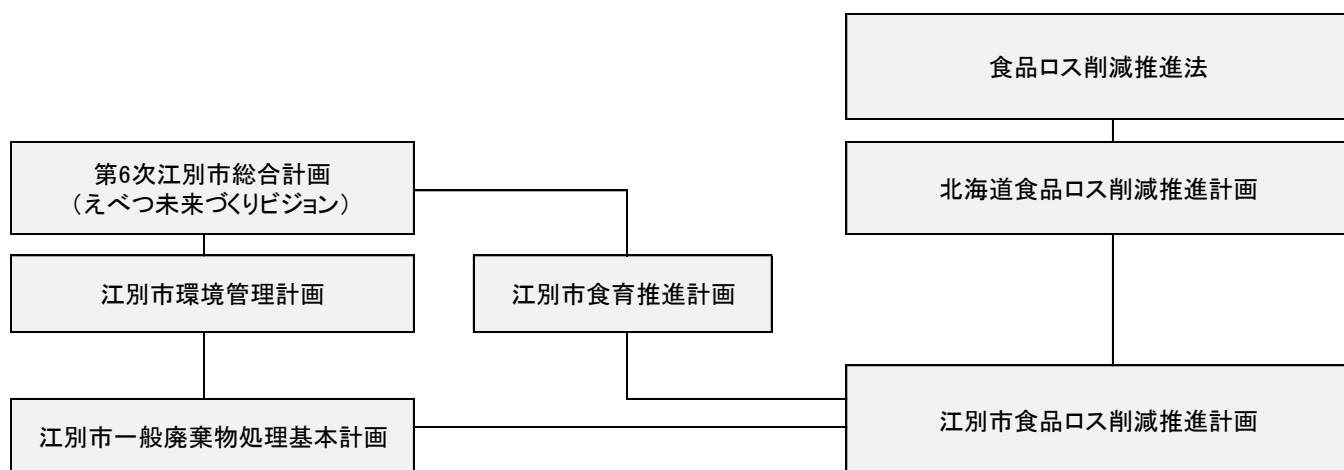
国では、第4次循環型社会形成推進基本計画において、家庭系及び事業系の食品ロスを2030年度までに2000年度比で半減するとの目標が定められ、これらの削減目標の達成を目指し、食品ロスの削減を総合的に推進するため、「食品ロスの削減の推進に関する法律(以下「食品ロス削減推進法」という。)」を令和元年(2019年)5月に制定した。

北海道においても、令和3年(2021年)3月に北海道食品ロス削減推進計画を策定し、令和12年度(2030年度)の食品ロスを平成29年度(2017年度)の約33万トンから7万t(事業系5万トン、家庭系2万トン)削減することとしている。

また、食品ロスの削減は、廃棄された食品の運搬や焼却に伴う二酸化炭素の削減にも繋がり、地球温暖化による気候変動問題の解決に向け、国が2050年までに目指す脱炭素(ゼロカーボン)社会の実現にも貢献するものである。

このような状況を踏まえ、本市においても、江別市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの発生抑制を進めるうえで重要である食品ロスの削減に向け、市民、事業者、関係機関との協働により、効果的な施策を持続的に取り組むことを目的として、江別市食品ロス削減推進計画を策定するものである。

2 計画体系図



3 計画の概要(案)

(1) 計画期間

令和5年度～令和12年度

(1) 基本理念

「もったいないの心を大切に、市民・事業者・行政の協働による食品ロス削減の推進」

(2) 基本方針

基本方針1 「食品ロスの削減に関する情報提供の推進」

基本方針2 「食品ロスの削減を実践できる環境の推進」

基本方針3 「未利用品を活用した食品ロスの削減の推進」

(3) 目標値

区分	単位	基準 令和元年度	削減目標 令和12年度	増減率 (%)
家庭系	1人1日当たり(g)			△50%
事業系	年間量(t)			△50%